

CSR REPORT 2024

✳ 服部興業グループ

2023.4.1-2024.3.31

CONTENT

- 02 トップメッセージ
- 03 経営理念
- 04 組織図
- 05 SDGs の取組
- 07 トピックス「未来を創る」
- 09 経営理念を実現するために（組織統治）
- 11 健全な企業風土づくり（人権）
- 13 従業員一人ひとりが活躍できる環境づくり（労働慣行）
- 18 持続可能な環境への取り組み（環境）
- 19 法令を遵守した事業活動（公正な事業慣行）
- 20 お客様の安心と満足のために（消費者課題）
- 21 地域のお客様と共に（コミュニティへの参画）
- 25 第三者意見

私たちは経営理念のもと、日々の事業活動をおこなっています。その報告書としてCSRレポートを作成するにあたり、世界のすべての団体に適用可能である社会的責任の国際規格『ISO26000』を手引きとして活用しています。同規格のガイドラインに従い以下の7つの原則に則っています。

【7つの原則】

- ①説明責任 ②透明性 ③倫理的な行動 ④ステークホルダー
- ⑤法の支配の尊重 ⑥国際行動規範の尊重 ⑦人権の尊重

私たちの活動を以下7つの中核課題に分類し編集しています。

7つの中核主題	服部興業グループの7つのカテゴリー
6.2 組織統治	経営理念を実現するために（組織統治）
6.3 人権	健全な企業風土づくり（人権）
6.4 労働慣行	従業員一人ひとりが活躍できる環境づくり（労働慣行）
6.5 環境	持続可能な環境への取り組み（環境）
6.6 公正な事業慣行	法令を遵守した事業活動（公正な事業慣行）
6.7 消費者課題	お客様の安心と満足のために（消費者課題）
6.8 コミュニティへの参画及びコミュニティの発展	地域の皆様とともに（コミュニティへの参画）

新しい未来を創る

平素より服部興業グループCSR活動へのご支援ありがとうございます。2018年にスタートして6回目のレポート発行となりましたが、昨年度も委員会メンバーを中心に多くの学びの機会を得ることが出来ました。また、新規事業や社内外での関係づくりへと繋がっていて、その一部を本レポートにてご紹介させて頂いています。今年度も「新しい未来を創る」をテーマに活動して参りますのでどうぞよろしくお願いいたします。

▶ ICT 導入

私たちはICT(Information & Communication Technology)を使って新しい未来を創って行きます。ICTとはデジタル化された情報をやりとりする技術です。知識や技能、顧客ニーズや人脈等、皆が持つ情報をつなぐだけでなく、人と人をもつなぎコミュニケーションを活性化させることがポイントです。個人の頭脳に蓄積するアナログで属人化していた情報を、コンピューターに記録、データベース化、見える化することで多くの人たちとの共有や協働へと広げて行く。ICTを積極活用し、新しい商品とサービスの創造やイノベーションで明るい未来を創って行きます。

▶ 新しい働き方

ICTはすでに様々な分野で活用されていますが、当社外壁部でも3次元CAD(コンピュー図面)を導入し2つの現場でゼネコンや職人と利用しています。インターネットを介してよりリアルな情報を共有することで、業務の正確性やスピード、生産性だけでなく、私たちの働くステージも変わるはず。画像やタブレットを使って、現場と事務所と工場をつなげば、離れていてもコミュニケーションと連携を図りながら世界が広がって行きます。また、今後は出産育児や介護などを並行しながら働けるリモート体制も実現して行きたいと思えます。

▶ 人材から人財へ

新しい仕事やICTで大切なのは人財です。活発なコミュニケーションや他者との協働により、一人一人がより主体的に動き、楽しみながら働くことが出来る人財が育ちます。また、見える化によって他者に関心を持てる様になれば、協力しながらより大きな仕事にも取り組むことも出来るようになるはず。服部グループではこれからも人が主役です。生き生きと働くことが出来る組織を目指して行きます。

引き続き皆様のご理解とご協力をお願いします。



代表取締役社長

服部 俊也

経営理念

実践



牛窓本宅広間に掲げられていた「実践」の書

ミッション

正しいことを実践し、
社員の幸福と社会の進歩発展に貢献します

ビジョン

人づくりを原点に、仕事の品質、安全、環境を追求し、
人々の豊かな暮らしを実現する地域ナンバーワン企業を目指します

バリュー

経営信条「3つの満足」 CSR方針「社業発展、社会貢献」
顧客の満足・社員の満足・会社の満足 SDGsへの取組

行動規範

家法・考働基本・行動指針・5S活動・服部フィロソフィ



三代目 服部 平九郎



経営信条

三つの満足

お客様に満足して頂くことが、社員の喜びであり、
会社に発展をもたらすものと確信しています。

- 1 顧客の満足 期待された以上のサービスの提供
- 2 社員の満足 生きがいのある仕事、自己の成長、
生活の向上
- 3 会社の満足 適正な利潤の獲得、利益の分配

行動指針

即反応・即実行 仕事に気魄と気働き

考働基本

	好感	安心感
即反応・ 即実行	感謝の気持ちを表そう 自ら進んで行動しよう 理解する人になろう	約束は守ろう 報告はすぐしよう 勇気をもって継続しよう
気魄・ 気働き	身だしなみを整えよう いつも笑顔で接しよう バイタリティーでやり遂げよう	相手の立場で考えよう 自信をもって行動しよう 成功への執念を持とう

組織図

服部興業

グループ売上高：100億円（2023年度）
グループ人員：140名



- ガラスサッシ部
- 外壁部
- セメント部
- 土木資材部
- 山林部
- 総務部
- 石油部
- Dr.Drive セルフ平野 SS
- Dr.Drive 倉田 SS
- ジョイカル倉田店
- コインランドリーピコラ倉田店
- ニコニコレンタカー岡山倉田店
- Dr.Drive セルフ花尻 SS
- セルフ古都宿 SS
- セブン・イレブン岡山古都宿店
- 産業燃料
- 保険

- 営業本部
- 管理部

- ガラス課
- 土木課
- サッシ課
- 配送
- 外壁

駐車場



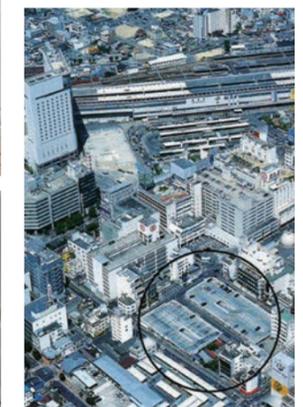
本社



(株)岡山木材市場



(株)岡山ガラステクノ



(株)服部パーキング



SDGs の取り組み



SDGs とは、Sustainable Development Goals の略称で、2015年9月の国連サミットで採択された、国連加盟193か国が2030年までに達成する目標です。エネルギー問題や気候変動、教育や健康、さらには働きがいや経済成長も踏まえたもので、私たちの企業活動の目的と一致するものも多くあります。

服部興業グループでは2018年4月7日にSDGs宣言を行い、成長目標を定めました。今後も我々が取り組むべきゴールに向けて事業を行ってまいります。

服部興業グループが取り組む SDGs

本業を通じて持続可能な開発目標の実現に努力します。



2023 年度 SDGs 目標・結果				2024 年度目標	
部門	目標	数値	結果	目標	数値
グループ全体	①休業災害ゼロ・労働災害の防止	休業災害ゼロ	0件 (100%)	①休業災害ゼロ・労働災害の防止	0件
	②資格・免許取得促進による人材育成の強化		26件	②資格・免許取得促進による人材育成の強化	
	③定期健康診断と再検査フォロー	100%	100%	③定期健康診断と再検査フォロー	100%
	④CSR活動の情報発信	12回	7回	④CSR活動の情報発信	12回
ガラスサッシ部	①玄関ドア、引戸、サッシの交換取付	100件	77件 (77%)	①玄関ドア、引戸、サッシの交換取付	100件
	②複層ガラス施工	5,000㎡	2,933㎡ (59%)	②複層ガラス施工	5,000㎡
	③断熱・日射遮蔽商品工事	200件	136件 (68%)	③断熱・日射遮蔽商品工事	150件
外壁部	①現場ロス材ゼロへの取り組み	90%	70%	①現場ロス材ゼロへの取組	80%
	②現場パトロールによる安全意識の向上、無事故無災害	1回/月	100%	②現場パトロールによる安全意識の向上、無事故無災害	1回/月
	③パネル施工時の破損による取替削減	5件以内	4件 (125%)	③ICTを活用した生産性UP (3DCAD、進捗状況確認表、金物集計システム)	90%
セメント部・土木資材部	①既設資材の再利用	10件	5件 (50%)	①既設資材の再利用	10件
	②エコ資材の取り扱い	30件	25件 (83%)	②エコ資材の取り扱い (低炭素無収縮セメント販売)	100袋
	③現場パトロールによる安全意識の向上、無事故無災害	10件	3回 (25%)	③現場パトロールによる安全意識の向上 (無事故・無災害)	1回/月
石油部	①ガソリン満タン・プラス1缶	25L/台	24L/台 (96%)	①燃費向上のための空気圧点検	12,000台
	②灯油配達の効率化	150L/回	151L/回 (100%)	②フードロス削減	前年▲10%削減
	③古紙回収数量	100,000kg	54,620kg (55%)	③古紙回収数量	82,000kg
	④社外研修参加	100人	84人 (84%)	④社外研修参加	100人
	⑤職場体験受入	20人	9人 (45%)		
山林部	①森林整備によるCO ₂ 固定化	植林0.5ha	0.26ha (52%)	①森林整備によるCO ₂ 固定化	植林1ha
	②山と海をつなぐ取り組み継続	牡蠣いかだ用丸太400本生産	341本 (85%)	②山と海をつなぐ取り組み継続	牡蠣いかだ用丸太400本生産
	③パートナーシップ推進	産官学連携3件	5件 (167%)	③パートナーシップ推進	産官学連携5件
総務部	①社会貢献活動情報発信 (募金、寄付、清掃等)	60件	35件 (58%)	①社会貢献活動情報発信 (募金、寄付、清掃等)	60件
	②DX推進	4件/年	4件 (100%)	②DX推進	4件/年
	③社外研修・教育推進	80名/年	141名 (176%)	③教育推進	10名/回
	④カーボンニュートラルに関わる情報共有	1件/月	2件 (17%)	④カーボンニュートラルに関わる情報共有	1件/月
(株)岡山木材市場	①合法木材の取扱量	8,200㎡	7,600㎡ (93%)	①合法木材の取扱量	8,500㎡
	②県産材の取扱量	2,100㎡	1,920㎡ (91%)	②県産材の取扱量	2,200㎡
	③ペレット販売量	56t (2,000袋)	52t/2,580袋 (93%)	③ペレット販売量	55t (2,750袋)
	④地域貢献	3回	5回 (167%)	④地域貢献	6回
(株)服部パーキング	①場内・周辺美化活動	毎日	100%	①場内・周辺美化活動	毎日
	②事前精算比率向上	70%	事前精算比率63%	②事前精算比率向上	70%
	③歩行歩数計測	10,000歩/日	11,482歩 (115%)	③歩行歩数計測	10,000歩/日
(株)岡山ガラステクノ	①連続無災害記録の実施4000日	366日	100%	①連続無災害記録の実施4000日	365日
	②月1回の安全周知会の実施	1回/月	10回/年 (83%)	②月1回の安全周知会の実施	1回/月
	③週1回のノー残業デー	49回	42回 (86%)	③週1回のノー残業デー	49回
	④資格・免許取得による人材育成の強化 (1級ガラス・大/中型免許)	3名	3名 (100%)	④有給休暇取得促進	3名

トピックス 未来を創る

服部興業グループは「未来を創る～新規事業・ICT～」をスローガンとしています。知識や技能、顧客ニーズや人脈など属人化していた情報をデータベース化・見える化することで、新しい仕事やより多くの人達との協働へつなげていきます。新しい仕事やICTで大切なのは人財です。活発なコミュニケーションや他者との協働で一人ひとりが主体的に、かつ楽しみながら働くことが出来る組織に人財は育ちます。また、見える化によって他者に関心を持てるようになれば、協力しながらより大きな仕事に取り組めるようになります。服部興業グループはこれからも人が主役です。制度の見直しも推進しながら、活き活きと働くことが出来る組織を目指していきます。

▶ DX サンライズおかやま

DX サンライズおかやまとは、県内中小企業を対象とした産学官金連携によるDX支援のコミュニティです。中小企業のDX推進やデジタル人材の育成を目的に、岡山大学や岡山県、商工会議所、中国銀行、コンサル会社、ITベンダー等で構成されています。DX推進は特に課題に感じていたため申請を行い、伴走支援先に選定されました。主に山林業分野での支援を頂いています。これをきっかけに全社的なDXにも繋げていけるよう、今後もご助言を頂きながらDX推進を図っていきます。



2023.10.17

▶ 山林デジタル化検討「森林3次元計測システムOWL」「測量用ドローン」

山林部では材積の把握が各人の勤任せという問題がありそれをDXで解決する第一歩として、「森林3次元計測システムOWL」と「測量用ドローン」のデモを行いました。「OWL」は赤外線レーザーを用い約10m間隔で計測することで空間把握処理され3D画像に再現されるシステムです。「計測用ドローン」は自動飛行で高度を保ちながら飛行・撮影し、約30分で6ha測量します。どちらも一長一短ありどちらを導入するか検討しているところです。検討課題は多くありますが、引き続き外部の協力を得ながら、新しいシステムや機械にもアンテナ高く取り組んでいきます。



▶ 自社林植林

真庭市落合にある社有林にて約35年ぶりの植林を行いました。服部興業グループ社員とその家族、岡山木材市場お取引先の皆様の総勢35名での実施となりました。植林する山は約45度の急傾斜。当日は雨が降る中での作業となりましたが、参加者の皆様はカッパ着用で、転げ落ちないように慎重ながらも夢中になって植えてもらいました。

植林して1か月後には下草が旺盛に生えてきたため、下草対策として輸入コーヒー豆やスパイス類の麻袋を再利用した防草シートを試しています。原料が麻のため、将来的には自然に分解され回収の必要がありません。

今後も植林を行うことで、木を切って使って植えて育てるサイクルを回しながら、次の世代に多様性のある山をつないでいきます。



2024.3.23

▶ kintone 勉強会

kintoneとは、プログラミングの知識がなくても、業務システムや効率化を実現するアプリが出来るクラウドサービスです。導入にあたり全2回、計12人が社外研修を受けました。社内に適したシステムをタイムリーに作成することで、業務効率を上げていきます。また、新しいことに興味を持ち能動的に学び続ける変化適応能力や試行錯誤を繰り返しながら諦めずに最後までやりきる力を持った人材への成長を後押ししていきます。



▶ 実践知研究会「明日の仕事の仕方を考える研究会」

2019年より毎月1回、経営コンサルタントの矢田昌宏先生による勉強会・実践知研究会を行っています。2023年度は約30名が4～5名の班に分かれ、新しい挑戦や仕事の悩みなどを先生やメンバーから意見をもらい自身の業務に活かしています。現地・現物・現実の3つの“実”を確認する「三現主義」やメンバーの集合知を活かしてよりよい結果を出す「集合天才」「内発的動機」キーワードにしています。



▶ 住宅の断熱性向上「先進的窓リノベ事業」

先進的窓リノベ事業は、断熱窓への改修を促進し既存住宅の省エネ化を促すことで、エネルギー費用負担の軽減、健康で快適な暮らしの実現および家庭からのCO2排出削減に貢献するとともに、断熱窓の生産効率向上による関連産業の競争力強化と成長を実現させることを目的とする事業です。（「先進的窓リノベ2024事業」より）

今ある窓の内側に内窓を付ける「インプラス」と壁を壊さずに簡単に窓を取り換えることが出来る「リプラス」をおすすめしており、窓リフォームで断熱性能が3.5倍向上するという試算もあります。冷暖房費低減やそれに伴う省エネ化にもつながります。

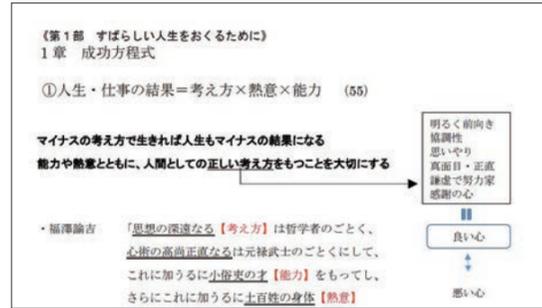
2024年度も引き続き補正予算が組まれています。お客様にも環境にも有益な提案ができるよう、今後も尽力していきます。



経営理念を実現するために（組織統治）

▶ 経営理念（服部フィロソフィ）の理解・実践を図っています

創業 200 周年を迎えた 2018 年に 40 項目からなる「服部フィロソフィ」を定めました。人として正しいことを実践し、正しい判断ができる人材を育成するための羅針盤になっています。毎朝 2 名ずつ行っている朝礼スピーチでは、仕事やプライベートでの気付きや行動とフィロソフィを照らし合わせて考えることで、理解と実践に繋がっています。



▶ 決戦の日

年 9 回、各部門・関連会社の成功事例を発表する勉強会を開催しています。他部門の成功事例を自身・自部門の業務に水平展開したり、取引先に他部門や関連会社の商品を提案できたりと、「オール服部」にも繋がっています。また、取り組んだ仕事やが服部フィロソフィの項目にどのように関連しているかを改めて考えるいい機会にもなっています。年始の新年互礼会では、前年の発表の表彰も行っています。



2024 年新年互礼会表彰者・発表タイトル

難波 正夫 「思い込みを捨てる」 中田 準人 「仕事を好きになる」
河田 草一 「学びから実践へ」 井上 寛明 「パートナーシップ」
森安 義之 「渦の中心になる」 河田 正文 「パートナーシップを重視する」

▶ 災害時対応訓練

古都宿 SS にて岡山市消防局協力のもと災害時対応実施訓練を行いました。当社以外に他 ENEOS、COSMO、出光など数十人に参加していただきました。今回の訓練では、SS を閉鎖し、災害が起きたという設定で、各所の安全確認、実際に電力供給を発電機に切り替えたのち、消防車への給油の訓練や一般車両への給油を行いました。



参加者感想

総務部
森安 義之



普段は SS を閉鎖してまで訓練をできないことがないため、今回実際に動いてみて新たに見えてくるものが多くありました。マニュアル通りにいかない部分や災害時に想定されるトラブルなどが今回浮き彫りになったため、それらを有事の際に活かせるよう、反省点を共有し改善に努めていきます。

▶ 安全への取り組み

私たちの職場環境は建築現場や山林作業などの危険業務や、危険物を取り扱う仕事もあります。従業員や協力会社の方が安心して働くため、営業推進と安全は車の両輪であるという価値観を共有しています。新入社員への安全教育も実施することで、安全意識の醸成に努めています。

2023 年度の労働災害は 19 件で、うち過失ゼロが 7 件、休業災害は 0 件でした。今後も事例の共有や安全周知会などを通じ、無事故無災害で仕事に取り組んでいます。



▶ 安全大会

安全大会とは、安全衛生に関する決起集会で毎年開催しています。2023 年度の安全大会では、服部興業グループの社外安全コンサルタントである労働安全コンサルタント本郷信夫先生から、「再発防止」から「未然防止」への転換」と題してご講演頂きました。「リスク」を探し「すぐに」手を打てる体制をつくり、労働災害防止に努めます。



▶ 安全パトロール

2023 年度は下表の通り事業主パトロールを実施しました。パトロール結果や現場担当者のコメント等を報告書にまとめ、全社員で共有しています。現場のことをイメージし、安全に業務に取り組めるようにしています。



2023 年度パトロール現場

【月】	【現場名】	【担当部門】
4月	井原鉄道	土木資材部、岡山ガラステクノ
5月	ケアハウス桃香の里新築工事	外壁部
6月	シャイニング創 SHINKURASHIKI 新築工事	外壁部
7月	おかやま信用金庫吉備支店新築工事	ガラスサッシ部、岡山ガラステクノ
8月	早島転落防止柵工事 奥原様邸新築工事	土木資材部、岡山ガラステクノ ガラスサッシ部、岡山ガラステクノ
9月	服部パーキング改修工事	土木資材部
10月	ユアサ工機(株)工場改築計画	外壁部
11月	上水田イケノオクオオエ	山林部
12月	ローム・ワコー(株)厚生棟建設計画	外壁部
2月	吉備高原 N スクエア新築工事 荒川化学工業(株)向 MF プラント建設プロジェクト	ガラスサッシ部、岡山ガラステクノ 外壁部
3月	服部興業ジョイカル倉田店 源吉兆庵様五明物流センター新築工事	石油部 外壁部

健全な企業風土づくり (人権)

▶ 男性の育児休暇を勧奨しています

今までは女性の取得が中心でしたが、男性でも積極的に取得が出来るよう協力体制を整えています。直近では対象者3名が取得しました。今後も取得を勧奨する雰囲気を醸成していきます。

取得者感想

岡山木材市場
神谷 佳樹



長女が誕生し計4週間の育休を頂きました。一瞬で過ぎ去る新生児期を24時間離れず過ごすことができ、素晴らしい思い出になりました。時に壁にぶつかることもありましたが、夫婦で協力して娘を育む土台作りもはっきりでき、改めて育休があっよかったと思います。

▶ おかやま子育て応援宣言企業「アドバンス企業」

「おかやま子育て応援宣言企業」は、従業員の子育てや地域における子育てを応援するための具体的な取組を宣言し、岡山県が登録する制度です。その中でも特に取組に積極的な企業等が「アドバンス企業」として認定されます。服部興業は、2019年に「おかやま子育て応援宣言企業」に登録され、この度「アドバンス企業」認定を受けることができました。短時間勤務制度の実施や年次有給休暇取得の促進等が評価されました。

今後も従業員一人ひとりが自分の能力を最大限発揮できる様に働く環境を整備し支援してまいります。



▶ 健康経営優良法人 2024

服部興業、岡山木材市場が健康経営優良法人の認定を受けました。今後も従業員が心身ともに健康に働き、それぞれの能力や個性を最大限発揮しながら毎日いきいきと働くことができる「健康人材」が集まる会社を目指していきます。



▶ 有給休暇取得率

2019年度から企業は従業員に「年間5日の有給休暇」を取得させることが義務となりました。当社でも有給休暇の取得を促進しています。



▶ 健康管理・健康維持

健康診断の結果が要再検査の従業員を対象に受診勧奨を行っています。

また、インフルエンザ予防接種費用の会社負担、毎朝朝礼でのラジオ体操、定期的に社内グループウェアでの健康ワンポイント情報の発信など、さまざまな形で従業員の健康にアプローチしています。2023年は社内報『わかば』に産業医の眞壁クリニック眞壁院長より「新型コロナウイルス感染症について」と題してご寄稿を頂きました。

今後も情報発信を通じて、健康への意識づけを行います。



社内報『わかば』23年5月号

▶ 配偶者健康診断

健康診断の機会が少ないと思われる控除対象配偶者の方向けに健康診断を勧奨しています。加入している協会けんぽでは40歳以上の配偶者の方が受けられる特定健診は簡易的なものであること、また40歳未満の方は受診できないことから、従業員と同じレベルのプランをオリジナルで作成、会社で費用を負担し受診していただいています。

23年度制度活用：5名

受診者の感想

配偶者健診は既に3回お世話になっています。定期的に案内していただけるので非常に助かります。事前の問診票はWEBで作成出来るようになり、手間が掛からなくなりました。引き続きよろしくお願いします。

▶ ストレスチェック

労働安全衛生法では、労働者が50人以上の事業所に毎年1回のストレスチェックを義務付けています。服部興業グループでは従業員全員がWEBでのストレスチェックを受けています。ストレスチェックで医師の面接指導対象と判断された方は、産業医との面談指導を受けることが出来ます。

▶ 個人目標シートヒアリング

社員が毎月部門長とのヒアリングを行い、目標への進捗確認や社員が自身の業務への評価を行います。ヒアリングの内容は、人事評価にも反映されます。社員が人事評価に納得感や働きがいを持てる公正な会社を目指して評価制度を定めています。

従業員一人ひとりが活躍できる環境づくり (労働慣行)

▶キックオフ

社員一人ひとりが能力を最大限に発揮し経営者マインドをもって仕事に取り組む”全員経営”を大切にしています。そのために、4月と10月の半期ごとに部門・会社の実績と目標を共有する場がキックオフです。



2023.4.1

▶表彰制度

毎年、年始の新年互礼会にて表彰を行っています。今回はのべ35名が表彰を受けました。

勤続30年	2名
資格取得	8名
無事故無違反(10年以上5年毎)	4名
販売協力	上位3名
サンクスカード	上位3名
オリーブ商品販売	上位3名
決戦の日	6名



2024.1.4

▶服部アワード

グループ全体での望年会で、1年の功労者を従業員の投票で決定し表彰しています。服部フィロソフィや多くの人を巻き込み協働する「オール服部」の実践、新しいことへの挑戦など様々な点が評価ポイントとなっています。2023年度はMVP 1名、優秀賞2名、敢闘賞2名の計5名が選出されました。



2023.12.28

MVP 受賞者

土木資材部
清水 洋充



このような賞を頂き非常にうれしく思います。2023年度は約4か月服部パーキング改修工事に携わりました。初めてすることばかりで不安ではありましたが、皆さまに支えられて無事にリニューアルが完了しました。来年も様々なことに挑戦し、スキル向上、ネットワーク拡大を図っていきます。

▶女性目線での改善提案「オリーブ会」

女性従業員10数名で毎月1回、働きやすい環境づくりを目的に実施しています。2023年度は、インボイス制度への対応確認、時間単位有給についての意見出し、使い勝手の悪い照明スイッチの移設などを行いました。今後も女性の声で会社を良くしていく事を目標に取り組んでいきます。

▶健康保険委員表彰

全国健康保険協会(通称:協会けんぽ)の岡山県支部より支部長表彰をいただきました。健康保険事業の推進・発展のために尽力している健康保険委員を対象に、岡山県下では令和5年は11名が選出されています。また服部興業としては、令和4年に健活企業支部長表彰をいただいています。



令和5年度 健康保険委員表彰式 令和5年11月9日 於 ホテルグランヴィア岡山

▶岡山ロータリークラブ優良従業員表彰

長年に渡り職務を通じて社会に貢献した「優良従業員」の表彰式が行われ、当社からも1名が表彰を受けました。

受賞者感想



セメント部
富山 克典

日常生活の中で、節目を実感するというのは、なかなか難しいことですが、今回このような表彰を受けたことで、自分が歩んできた道を振り返り、誇らしい気持ちを持つことができたように思います。これからも目の前のことに真摯に向き合い、健康に気を付け過ごしていきたいと思っています。



岡山ロータリークラブ優良従業員表彰式 令和5年10月25日 於 ホテルグランヴィア岡山

▶岡山木材市場 山林部コラボ特市

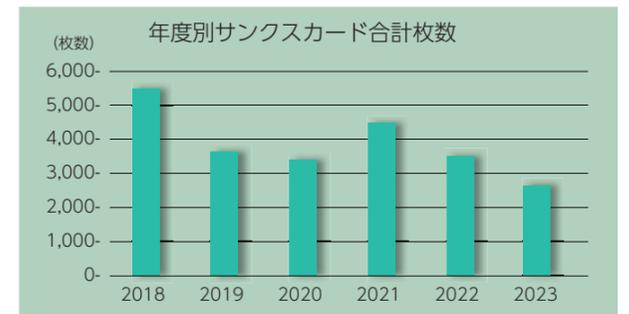
岡山木材市場では、毎年4回特市を開催しています。9月に行った山林部とのコラボ特市では、プレゼンタイムを使い山林部部長から林業の現状や植林についての情報提供を行いました。お客様も興味を持って真剣に聞いてくれました。9月以降の特市では売上の一部を植林費用に充てるという、お客様参加型のCSR活動を行っています。木を伐って、使って、植えるというサイクルを業界全体で目指していきます。



2023.9.14

▶社員相互のありがたいの繋がり「サンクスカード」

行動基本の一つである「感謝の気持ちを表そう」の実践としてサンクスカードを行っています。業務内外での感謝の気持ちを名刺サイズ代のカードに記入し、みんなに見えるように掲示、その後カードは給料明細と一緒に受け取る方へ渡されます。2023年度は2,731枚でした。



▶山林研修

2023年度は新入社員5名が参加し、3日間の山林研修を行いました。山林踏査、松茸山の清掃、獣害を防ぐための防護柵の設置などを行いました。

参加者感想



石油部
梶山 愛

一人一人の意識や頑張り
が、一人では成し遂げられ
ないことでもみんななら達成
できるという成功体験につな
がり、私自身の「仲間に尽く
す」事の価値を再認識する
きっかけになりました。



▶社内旅行

2023年7月、ポストコロナで初めてとなる社内旅行を行いました。毎回社内旅行では、従業員から募った旅行実行委員が計画し、プラン作成やアテンドを行っています。今回の旅行先は愛媛・しまなみ海道でした。

実行委員感想



ガラスサッシ部
大園 奈緒

旅行中は進行が上手に出来
なかったり時間が足りなく見
学が駆け足になったり、自由
時間が少なく自分達の行き
たい所に行けなかったなど反省
点・不満はありましたが、総
合的には良い旅行だったので
はないかと思います。終了後
のアンケートに旅行委員への
感謝の言葉が書かれてあるの
を見た時には頑張ってたか
らと感じました。



▶旭川下流地域クルーズ

岡山木材市場メンバーを中心に、京橋朝市を出発し児島湾大橋を折り返す旭川流域クルーズに参加しました。主な目的は、貯木場跡の見学です。旭川に面している岡山木材市場の前身は製材所で、昔は上流から川に流して木材を運んでいたため、貯木場が川中にあるのは全国的に珍しく貴重な土木遺産になっています。会社の歴史を振り返る貴重な体験になりました。



▶自己成長、スキルアップ支援

資格へのチャレンジや仕事の幅を広げる挑戦を後押ししています。今年度は、ノーコード開発クラウドサービス勉強会、3D CADのオンライン講座、Keeperコーティング研修、各種保険研修、燃料元売主催のEnejet大学、林業について同業者たちと学ぶ「林業塾」への参加、樹木作業従事者のためのアーボリストトレーニングなどに参加しました。今後もDXや新規事業をテーマに支援していきます。

参加者感想

山林部
安藤 翔



三重県で4日間開催された林業塾2023に参加しました。「考える林業」をテーマに、経営学的観点や生態系、経済林以外に着目してみるなど、多方面から林業について考えることができました。参加している方の半数近くが林業に従事していない方で、新事業として勉強に来ている方も多く、様々な分野の方と意見交換できた非常に充実した時間となりました。今回学んだことを今後の業務にしっかり活かしたいと思います。

▶歩行ラリー研修・明日の仕事の仕方を考える研究会

2023年10月に歩行ラリー研修に服部興業グループから4名が参加しました。歩行ラリー研修とは部分地図を頼りにゴールを目指して歩く野外活動を通して、「See、Think、Plan、Do（観察、洞察、仮設、実証）」して解決していく創造型の変革人材の育成、自立・自律集団（プロフェッショナル型組織）作りを目的としています。今回は、福岡・岡山・福井から参加者が集まり、総勢12名で行われました。歩行ラリー後は4か月間、「明日の仕事の仕方を考える」をテーマとした研究会にオンラインで参加。歩行ラリーでの学びを深めました。

参加者感想

石油部
山崎 晨平



様々な業種の方が集まり、色々な視点から意見を出し合い続けていく中で、様々な「仕事のヒント」が研修中には散りばめられていたのだと気づきました。その中の一つが、視点を複数持つということです。部分地図に向き合法則性を見いだせた様に、自分一人で物事に向き合い、頭を抱え込むよりも、多くの人と知恵を出し合うことで、物事を多面的に捉え、より深い理解に繋がっていくのだと気づかされました。

▶女性の現場見学

お客様や現場を訪れることで、お客様のニーズを把握し、より喜んで頂ける仕事ができるようになること、自分の仕事がどのように社会に係っているかを知ること、それらを自身の仕事に活かすことを目的としています。事務所にいることが多い女性事務職ですが、普段とは違った環境にいい刺激を受けることができ、仕事へのモチベーション向上にも繋がっています。

参加者感想



ガラスサッシ部
高橋 理瑚

外壁部が施工しているユアサ工機の現場を見学しました。これまで社内での作業や頼まれた仕事を言われたままするだけだったので、営業が普段どのように仕事をしているか、現場の職人がどんな道具を使って作業をしているか学ぶことができ、貴重な体験になりました。



持続可能な環境への取組（環境）

▶ サークル活動支援金

社外活動を活性化させることにより、コミュニケーションやチームワークの向上を目的とした制度です。各種スポーツ、アウトドア、勉強会、ボランティアなどを実施した際に、一人 1,000 円 / 回の支援金が支給されます。2023 年度はサークル活動が 5 回行われ、のべ 29 人がこの制度を活用しました。



▶ 誕生日プレゼント・誕生月昼食会

毎年誕生日にお祝いとして社長直筆のメッセージカードとお菓子のプレゼントが届きます。また、同じ誕生月のメンバーと社長でランチを囲む昼食会も行っています。ランチ会は普段あまり話す機会がない他部門や他グループ会社の従業員と会話ができるいいコミュニケーションの場にもなっています。

▶ 結婚・出産・新築お祝い

結婚・出産・新築の従業員にお祝い金が渡されました。2023 年度は結婚 2 名、出産 6 名、新築 1 名でした。モチベーションを高め、仕事にも一層力を注いでもらいたいと考えています。

▶ 新入学お祝いの会

毎年 3 月に次年度に小学校に入学するお子様を持つ従業員のご家族を会社に招き、新入学お祝いの会を開催しています。社長からのお話やお子様へ絵本・文具等のプレゼントや、作成したお仕事動画を見てもらいます。お父さん・お母さんが会社でどのような仕事をしているのか理解を深めてもらい、会社を身近に感じてもらうとともに、お子さんから応援してもらえるような仕事・会社を目指しています。2023 年度は 2 家族が対象でした。

参加者感想
石油部
河本 和幸



会の中で、いつもしている仕事内容の動画を見て、どんな仕事をしているか理解を深めてくれたように思います。以降、今日はどこに油を持って行った？と質問もしてくるようになりました。
また、子どもも、「緊張したけど楽しかった。貰った本を毎日読んで、勉強できてよかった。」とっていました。



▶ 岡山市グリーンカンパニー活動の認定を受けました

これは、原料の購入から廃棄物の排出・商品の販売等まで、自らの活動から発生する環境負荷を継続して低減していくとする市内の工場や事業所等を「グリーンカンパニー」として位置づけ、それらの活動を支援し、優れた活動を市の内外に顕彰していくとするものです。(グリーンカンパニーとは | 岡山市 (city.okayama.jp) より) 認定は今回で 4 度目となります。今後も一人ひとりができることから取り組むことで環境保全に繋がるとともに、従業員の意識向上を図ってまいります。

▶ 「グリーンカンパニー企業と取り組みのご紹介」に取り上げられました

服部興業は岡山市地球温暖化対策ポータルサイト内の「グリーンカンパニー企業と取り組みのご紹介」に取り上げられました。ペーパーレス FAX システムやコンビニエンスストアでのペットボトル・資源回収の取組、林業の環境への役割などについてお話をさせていただきました。今後も行政とも連携しながら、環境に配慮した事業活動を行う様に積極的に取り組んでまいります。



岡山市地球温暖化対策ポータルサイトより

▶ 旭川一斉清掃に参加しました

岡山県商工会議所主催の旭川一斉清掃に社員とその家族計 11 名が参加しました。当社の関連会社、岡山木材市場のある旭川東側から旭川大橋まで、土手の車道とその下の河川敷とに分かれて約 2 時間清掃して歩きました。

参加者感想



石油部
林 貴則

河川敷よりも土手の車道側にゴミが多く、たばこの吸い殻やコンビニで購入した飲食物のゴミが多数ありました。おそらくですが車からのポイ捨てが大半だと思います。一人ひとりがマナーを守り綺麗な状態を維持していきたいと感じました。



▶ コピー用紙使用量集計

意識して無駄な紙の削減につなげようと服部興業本社では個人ごとの印刷枚数を集計し共有、過剰印刷への注意喚起を行っています。この取り組みは SDGs 目標「12. つくる責任つかう責任」のターゲット「12.5 2030 年までに廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する」の達成を目標としています。裏紙の使用も推奨しています。

年度累計比較 (すべて A4 として計算)

	2022 年度	2023 年度	増減
枚数	273,635	331,748	58,133
焼却時の二酸化炭素排出量 (kg)	372,144	451,177	79,033

お客様の安心と満足のために（消費者課題）

▶エコキャップのリサイクル

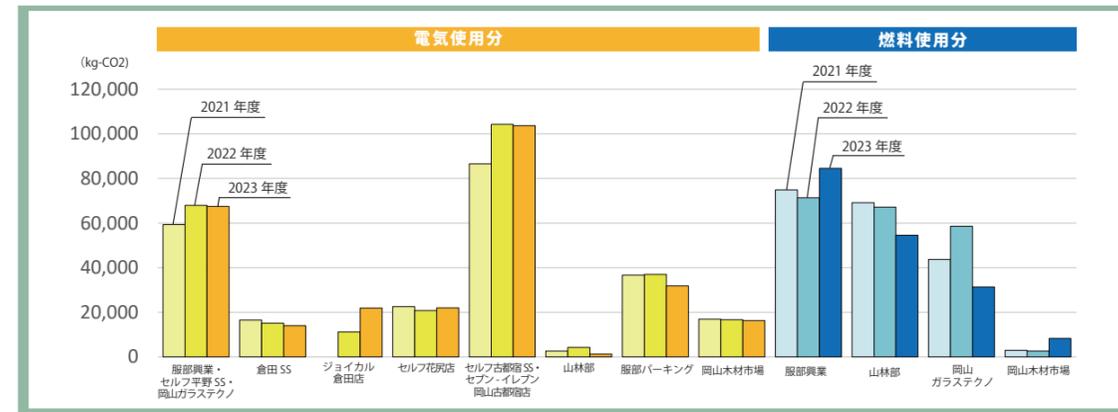
2018年からペットボトルキャップの回収を行っています。ペットボトルキャップは焼却すると1kgにつき約3,150gのCo2が発生します。2023年度は138.6kgのCo2削減につながりました。



▶事業活動のCO2排出量

事業の中で排出しているCO2量の算出を行っています。主に電気使用量と営業車や重機等の燃料が対象です。数値化することにより事業活動の環境負荷を明示することで、資源を大切にしたい気持ちの醸成や省エネ行動・エコドライブといった行動に結び付けていきます。

2021年度	436,973 kg-CO2
2022年度	477,023 kg-CO2
2023年度	457,153 kg-CO2



▶服部パーキング改修工事

服部パーキングの全面改修工事が2023年12月に完了しました。工事中の場内誘導では通行区分が都度かわるので、従業員全員で安全かつ分かり易い誘導を心掛けました。明るくきれいに生まれ変わったことで今後も長く愛されるパーキングを目指していきます。



▶石油部5社対抗サービスコンテスト

同業の増田石油様、トリベイ様、篠原石油様、三愛リテールサービス様と当社の5社対抗コンテストを開催しました。各社からの代表9名がSSやセブン・イレブンの商品・サービスなどを提案し、審査員は対応マナーや提案スキルなどのポイントを評価します。ここで培った接客力は実際の仕事でも役立っています。

参加者感想



石油部
河田 悠雅

本番では緊張しましたが、今までの練習の成果をしっかりと発揮することができ、優勝することができました。今後は、セールスコンテストに挑戦する中で得ることのできた知識や話し方を実際のお客様との会話の中で活かしていきたいと思います。



▶ジョイカル倉田店ホームページ開設

ジョイカル倉田店ホームページが出来ました。新車販売・中古車販売・キャンピングカー・コーティング・ランドリー・倉田SS・点検・車検・自動車保険など多様なコンテンツを通じて、お客様に有益な情報を提供していきます。



▶セブン・イレブンスムージー販売スタート

セブン・イレブン古都宿店にてセブンスムージーの販売を開始しました。通常は廃棄されてしまうブロッコリーの茎部分や大きさや見た目の問題で規格外となっていた果物も使われており、フードロスの低減にもひと役買っている商品です。



法令を遵守した事業活動（公正な事業慣行）

▶大本組様優良職長表彰

株式会社大本組様の安全大会にて、優良職長表彰をいただきました。DLP空港団地B棟でのALC工事の現場管理が評価されました。今後も安全品質管理に協力会社と力を合わせ一丸となって取り組んで参ります。

受賞者感想



外壁部
杉山 潤

受賞できたのは、営業と共に現場管理をしてれたメンバーの助けや、協力会社の方々と高水準の安全意識を共有することができたことだと思います。作業手順や搬入方法を考案し、効率だけでなく安全に留意した作業を徹底できました。今後も安全第一に現場管理を行っていきます。



地域の皆様とともに（コミュニティへの参画）

▶おかやまマラソン 2023 ボランティア

服部興業グループは、2017年大会からおかやまマラソンにボランティアとして参加しています。今年も35km地点の給水所でランナーの皆さんへカステラやゼリー、羊羹の給食を配布しました。

また、岡山木材市場はボランティアの駐輪場と休憩場の提供に加え、コールドスプレアのブースを設置するなど沿道にてランナーをサポートしました。大会後には「コールドスプレーがとてもありがたかった」との声を多くいただきました。



▶ファジスポンサー招待デー

2018年のJ2昇格当初から、オフィシャルスポンサーを努めています。2023年度のスポンサー招待デーは9月9日ファジアーノ岡山VSベガルタ仙台が行われました。この日の入場者数は14,156人。服部興業グループからは従業員とご家族、取引先の方々、総勢243名がスタジアムでファジアーノを応援しました。



▶SS ファジ応援ガソリン割引企画

ファジアーノ岡山を地域の方と一緒に盛り上げたいという思いから、サービスステーション4店舗で応援企画を開催しました。23年シーズンホーム最終2試合、ファジアーノ観戦チケット持参でガソリン・軽油を特別値引しました。SNSでも案内を行い、サッカーにあまり関心がなかったお客様にもファジアーノ岡山をアピールすることにもつながりました。



▶おかやまSDGsフェア

岡山コンベンションセンターにて、『おかやまSDGsフェア2023』が開催されました。当日会場では、「地域・地球・産業・人」をテーマにした約150のブースが開かれました。当社は「木の箸づくり」と「ヒートペンを使ったストラップづくり」、SDGs活動の掲示を行いました。



▶岡山建築士会ヘリテージサポーター養成講座牛窓本宅見学会

岡山建築士会ヘリテージサポーター養成講座のプログラムとして服部興業牛窓本宅の見学会が開催され、約30名が参加されました。当社から1名、案内者管理人のサポート役として参加させていただきました。



参加者感想
ガラスサッシ部
小野 和夫



案内者管理人からの詳しい説明もあり、厨の天井の高さから大広間の細部にまで拘った様式や茶室の様式美まで何かと見るべきことの多さと驚きの連続でした。今回の見学会は、歴史的重要な物を後世に遺していく為の大事さと大変さが分かる見学会となりました。機会があればもう一度じっくりを観覧したいと思います。

▶平井まつり木工教室

岡山木材協同組合と協同で実施しました。岡山木材市場のブースは親子で協力して作る椅子作りとマイ箸づくりを行いました。コロナ明けも重なり、例年以上の人数で笑顔があふれたいいお祭りになりました。また、端材の売上をKOTOMO基金に寄付しました。今後もこうした地域への貢献活動を通じて、木に直接触れて良さを知ってもらう活動を続けていきます。



▶リコージャパンSDGs講舎

リコージャパンの岡山支社が独自で立ち上げたSDGs講舎にて、現在、25社の有志が3カ月毎に会合を開き、SDGsの取組み発表や情報交換を行っています。

プレゼンでは、当社がSDGsに取り組むようになったきっかけ、各部門での目標設定、CSR委員会の活動など、様々な角度から紹介することができました。



▶コンベンションセンターカッティングボード

岡山コンベンションセンター様からご依頼を受け、ホオノキとイチョウでカッティングボードを作成いたしました。このカッティングボードは、社有林の間伐作業時に支障木として伐採したものを簡易製材していたもので、真庭市内の木工所さんに加工してもらいました。今回製作したカッティングボードは一つにつき二酸化炭素約458gの固定に貢献しています。



▶ 後楽館高校森づくり指導

参加高校生は15名に、ヒノキや枯れたコナラなどの伐採を見学していただいた後、高校生はその木材の玉切りや枝払いを体験してもらいました。

高校生からは、「木を切った時の迫力がすごい」「短く切った丸太でも意外に重たい」「玉切りはのこぎりが挟まれて難しかった」「山の空気がきれい」などの感想をいただきました。



▶ 岡山県立大学「吉備の杜」受入

「吉備の杜」創造戦略プロジェクトの一環として岡山県立大学の森林・木材学演習の学生、社会人計24名を当社の落合山林に受入れました。2019年度から継続し4回目となります。

午前中は人工林と自然林の違いを意識しながら山林踏査、午後からはツリークライミング体験や箸づくり体験を行いました。



▶ 岡山市立岡北中学校地域調べ学習協力

岡山市立岡北中学校の生徒5名が、地域調べ学習として服部興業に来社して来ました。地域で社会人として働く人々について学習することを通じ自らの生き方について考えること、課題解決のため多面的総合的に考え他者へ伝える力を身につけることどうしたらわかりやすく伝えられるかと考えながら話をする場となり、お互い有意義な時間を過ごすことが出来たのではないかと思います。中学生のみなさんが自分の将来について考えたり地域をより好きになったりするきっかけになれば幸いです。



▶ 中学生の職場体験

Dr.Drive セルフ平野SS、Dr.Drive 倉田SSにて計3名の中学生を職場体験に受入れました。お客様への声掛けやタイヤ空気圧のチェック、洗車の拭き上げ、バッテリー点検やオイル交換、タイヤの脱着、ボンネット内の点検等を体験いただきました。中学生から、「服部興業の企業理念になっている“利他の心”を意識して働くことの大切さを学びました」等の感想をいただきました。



▶ BeLive 実行委員

BeLiveは、高校生の皆さんの持つ柔軟な発想と岡山に根差す企業・団体の力を掛け合わせたSDGsの取組・発表を通じて、岡山の新しい未来を創造するプロジェクトです。服部興業は実行委員としてこのプロジェクトに参画しています。共に岡山の街づくりに貢献する気持ちを大切に、今後も会社としても出来る事には積極的に協力していきます。



BeLive ホームページより

▶ 能登半島地震義援金

日本赤十字岡山県支部に訪問し、服部興業グループでも従業員から義援金を募り会社と合わせた寄付金をお渡ししました。全額が被災地義援金分配委員会により被災された方々に届けられます。

当グループとしても、引き続きどんな支援ができるか検討を続けていくとともに、会社・個人でも地震への備えを見直してまいります。



▶ KOTOMO 基金寄付

KOTOMO 基金への寄付は今年で3回目になります。服部興業グループ従業員75名から集まった厚意と会社から支援した寄付金と岡山木材市場の平井まつりでの端材売上を岡山NPOセンター参画推進センター所長西村様にお渡ししました。寄付金は、不登校の子どもへの訪問支援や子ども食堂などに活用されます。



ご意見ご感想をお聞かせください



服部興業グループ CSR レポート 2024 についてのアンケート

第三者意見

代表挨拶

CSR 報告書を読む会
代表幹事 川元 盛樹

経済産業省が公表した「製造業を巡る現状と課題 今後の政策の方向性 2024年5月」によると、2022年は15.7兆円の貿易赤字を記録した一方、第1次所得収支は35.7兆円で過去最大になったとされ、本業ではなく海外からの投資収益が経常収入を支えている現状を直視する必要があります。

また、日本の一人当たりGDPは2000年が39,173ドルでしたが、2023年は35,385ドルに大幅低下しています。さらに、急激な物価高騰が加わったことで労使ともに非常に厳しい状態に置かれています。これからは益々高齢化が進み、人手不足はより深刻なものとなっていくでしょう。

このような時代にあって、企業としてどのような未来社会をつかっていきたいのか明

確にすることが求められます。それには、何のため、誰のための事業経営であるのかを改めて問い直しながら、自社が備えた文化資本を軸にして企業活動を進めることです。

そうすることが、社会からの信頼を構築しESG投資を呼び込むことにもつながります。少し大げさなことを言えば、長らく停滞している日本経済全体を地方から活性化する可能性を備えているということです。

企業としてのとりくみをレポートやホームページ、SNSを通じて社会に発信すると同時に、現場で働いている社員一人ひとりが1年間のとりくみを振り返ることができることが最も大切です。

貴社が持続可能な社会に向けてさらにとりくみを進められること。そして、企業活動を通して、岡山県民から愛され、多くの人に期待される企業へと益々発展されることを願っています。

代表幹事

川元 盛樹

岡山県労働組合会議



特筆すべき点

育児休暇を取得する男性社員が毎年いることから企業の中で慣行のように普及していることを表しているため大きく評価できる点だと思えます。また、労働災害も発生しておらず、貴社の安全へのとりくみの成果だと言えます。また、有給休暇取得率が高いことから、計画的な運用がされていることも読み取れます。今後も働いている一人ひとりの声を大切に作る対話型の運営を継続されることを期待しています。

さらなる取り組みを期待する点

表彰制度、服部アワード、オリーブ会や研修制度など様々なとりくみが進められ、それらによって社員同士の結束は高まりモチベーション向上につながっているものと思われま。今後はさらに一歩踏み込み、労働生産性の向上にどれだけつながっているのか、企業収益との関係性を明らかにし、賃金としてどれだけ社員に再分配されているのかを俯瞰できるようにすることを考えられたらどうでしょうか。また、ICTを積極的に活用することで労働時間の短縮、労働負荷の軽減が可能になります。労働時間の短縮・業務負荷が軽減できれば社員一人ひとりの社会参画を促すことにつながります。

幹事

小桐 登

岡山県ボランティア・NPO活動支援センター
CSR担当



特筆すべき点

ICTの活用により複数の部門で、業務改革が行われ、同時に人材育成が図られていることは評価できます。

また、社員のみならず、配偶者の健康診断についても継続して取り組まれていることは、健康経営優良法人の認定と合わせ素晴らしい取り組みです。社員の有給取得率も年々上昇しており、ワークライフバランスにも注力されていることがわかります。

SDGs達成に向けての社外イベントや交流会などへの積極的な参加で岡山県内でのボトムアップに貢献されていると感じます。

さらなる取り組みを期待する点

今年度のSDGs社内目標が未達成項目が前年度より増えたことが気になります。レポートの中では、未達成項目に関してどのような改善をして達成されるのかが見えてこない点も気になります。特に目標の値と大きく差がある点については、原因究明や対策を部門内だけでなく、全社で共有されると良いと感じます。目標未達成を継続すると行動のマンネリ化に陥りやすく、事業のリスクが高まる場合もあります。環境についての取り組みも進んでいますので、現状のレポートの参考とされているISO26000のガイドラインに加えて環境省環境報告書ガイドラインも参考にされると良いと思います。新たな視点での取り組みの参考になると考えます。

幹事

築谷 淳志

公益財団法人
岡山県環境保全事業団
環境創造部 部長



特筆すべき点

先行き不透明な社会経済状況が続いていますが、地域のインフラを提供される企業として益々重要性が高まるなか、社会責任を果たし続けられていることに敬意を表します。ISO26000で定義される社会責任7つの中核課題について、各部署が漏れなく目標をたてグループ丸となった活動が定着し、中長期的な指標の推移で状況を把握できる課題も増えてきました。多くの社員が参画する服部アワードや研修、中高校生や大学生の体験支援など、ステークホルダーとの交流機会も多種多様となり、信頼や協力関係が強化されていることが伺えます。今後も、それぞれの取組の意図を明確に設定し、中長期的な目標設定や結果に対する経営者のレビューを実施することで、さらに成長を加速する取組を期待しております。

さらなる取り組みを期待する点

住宅の断熱性向上「リノベ事業」は、事業の成長とともに、家庭から排出される温室効果ガスを大幅に削減する可能性を秘めています。環境省が2022年10月から展開している脱炭素に向けた国民運動「デコ活」では、特に重要な取り組み分野の一つに「住宅の省エネ・再エネ導入」を掲げ、断熱の導入を促進する課題として、①導入メリットや意義、最新情報の提供②支払い額の平準化③短時間で手間のかからない断熱化を挙げています。今後の展開として、貴社が取り組まれるイベントや営業においてこの課題解決に取り組み、地域の脱炭素と事業成長の両立を実現されることを期待します。事業者としての脱炭素取組では、電気と化石燃料に分けて経年変化を見える化されていることは非常に素晴らしい取り組みです。今後は、増加傾向にある服部興業様の取組とともに、排出源を機能別に調査し（例えば照明、空調、動力など）、割合や増減の傾向から取組の優先順位の決定や補助金等を活用した水平展開など、さらなる取組の深化を期待します。

幹事

石原 達也

特定非営利活動法人
岡山NPOセンター
理事長



特筆すべき点

地域の次世代育成のために、中学生高校生大学生の教育に関わる取り組みを展開されていることは未来へ繋がる有用な取り組みであり、その継続をされていることは素晴らしいです。また、能登半島地震、困窮家庭への支援等、今起きている社会課題への目線を忘れておられないことも組織の社会への視野の広さを感じます。

あわせて、DXの導入は業務効率の向上だけでなく事業や社会的役割の向上にも期待ができます。

さらなる取り組みを期待する点

山林デジタル化は、業務的な管理・経営計画に寄与すると共に、自然災害が頻発する中で土砂災害の危険把握やネイチャーポジティブへの取り組みなどへの応用が期待されます。ぜひ取り組んでいただきたいテーマであると感じました。あわせて断熱に関する取り組みなど、脱炭素に向けた取り組みも今後、必須な事であり、これらのテーマでも引き続き、岡山をリードする存在であられることを期待します。



〒 701-0151 岡山市北区平野 620
TEL (086) 293-2111 FAX (086) 293-2112
<https://www.hattori-k.co.jp> Email:info@hattori-k.co.jp